

東京慈恵会医科大学附属柏病院における臨床倫理への取り組み －教職員教育および地域多職種・地域住民への教育・普及・連携－

三浦靖彦[†]第73回国立病院総合医学会
(2019年11月9日 於 名古屋)

IRYO Vol. 75 No. 3 (238–240) 2021

要旨

倫理コンサルテーションとは、医療やケアの現場において倫理的問題に直面した人々が、これらの問題を解決できるように支援する活動を指す。わが国においては、日本医療機能評価機構が、その評価基準として、院内に臨床的な倫理問題を検討するシステムを設置することなどを挙げて以来、急速に普及してきている。しかし、医療・介護従事者のほとんどが、臨床倫理教育を正式に受ける機会がなく、多くの施設において、どのように対応すべきか暗中模索の状態であり、参考にすべきガイドとなるべき発表は少ないのが現状である。さらに、臨床倫理的問題が生じているのは病院内だけではなく、地域医療現場においても大きな問題を抱えているのが実情である。地域医療を担う個人開業のクリニックや訪問看護ステーション等では、人員の問題等から、このような倫理相談の仕組みを持つことは難しく、倫理的ジレンマに日々苛まれているものと思われる。近年の高齢・多死時代における地域連携・地域包括ケアの重要性を鑑みると、病院内に倫理コンサルテーションのシステムが構築されたのであれば、可及的速やかに地域へも開放されるべきと考えている。そこで、東京慈恵会医科大学附属柏病院で実践している臨床倫理コンサルテーションおよび臨床倫理教育プログラムについて概説する。

キーワード 臨床倫理コンサルテーション, 臨床倫理教育, 地域連携, 地域包括ケア

はじめに

倫理コンサルテーションとは、医療やケアの現場において倫理的問題に直面した人々が、これらの問題を解決できるように支援する活動を指す¹⁾。

東京慈恵会医科大学附属柏病院では、臨床倫理委員会および臨床倫理コンサルテーションチームが2014年6月に正式発足された。形式としては、臨床倫理委員会を設置し、その下位組織として、臨床倫理コンサルテーションチームを設置するという形式である。臨床倫理に関する依頼があった際には、可

及的速やかに臨床倫理コンサルテーションチームが、情報の収集および一次アドバイスを依頼者に与え、そのアドバイス内容の妥当性について、毎月開催の臨床倫理委員会が監査するという体制で運営されている。

メンバーは、多職種で構成されており、医師（総合内科、糖尿病内科、代謝内科、外科、脳外科各1名、救急科2名）、看護師長2名、薬剤課長、MSW、臨床心理士、管理課事務職から構成されている。一部の大病院では、20名以上をコンサルテーションチームのメンバーとしてプールし、事例に依

東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部 [†]医師

著者連絡先：三浦靖彦 東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部 〒277-8567 千葉県柏市柏下163-1

e-mail: yamiura-npr@umin.ac.jp

(2020年3月13日受付, 2020年11月13日受理)

Clinical Ethics Consultation in Jikei University School of Medicine, Trial for Education, Dissemination and Regional Cooperation

Yasuhiko Miura, The Jikei University Kashiwa Hospital

(Received Mar. 13, 2020, Accepted Nov. 13, 2020)

Key Words: clinical ethics consultation, clinical ethics education, regional cooperation, community-based integrated care